



城南小学校 学校だより

令和3年4月30日(金)

校長 宮崎 朋子

<ホームページ>

明治15年・山岡鉄舟揮毫の校名額

<http://school.cts.ne.jp/~jonan/index.html>

## 大切にされた子が、人も大切にする子に

### ～心の土台は、“自己肯定感”～

校長 宮崎 朋子

心の成長にとって、一番大切なものは、何でしょう。

学力が大切、しつけも大切、様々な経験も大切ですが、心の成長に欠かせないものは、自己肯定感だと言われます。自己肯定感とは「自分は大切な人間だ」「自分は生きている価値がある」という考えのことです。この自己肯定感が低くなった時、自分に自信がなくなり、反抗したり、自分から進んで何かをしようとしなくなったり、後ろ向きの行動が多くなったりします。逆にいえば、自己肯定感を育てていけば、子どもは心身ともに健康に成長していきます。

しかし、日本の子どもたちは諸外国に比べ、自己肯定感が決して高くないことが様々な調査によって明らかになっています。10歳ころから低くなっているようです。「自分なんか、価値がない」「どうせ何をやってもだめ」としか思えない子どもは、何事にも意欲的に取り組んだり、前向きに考えたり、失敗を生かしてさらに頑張ろうと考えたりすることはありません。

社会性を身に付ける中で欠かせないのは、「他人のことを大切にすることができる」ことです。自分を大切にしてもらった経験や感覚のない子は人を大切にすることはできません。自分が大切な存在であることを自覚することによって、周りの人々とも良好な関係を築きやすくなります。

このような、成長の中で大切な自己肯定感は小さいうちから育てていきます。子どもたちのいいところを見付け、たくさんほめ、「あなたのこと大好きだよ」という気持ちをもって子どもと接することで「愛されている」という思いが生まれ、大切にされている自分に気が付きます。もちろん、だめなことを叱ることも必要です。しかし、子どものやる気を引き出すには「ほめる」「認める」ことが欠かせません。厳しく叱って伸びる子もいますが、その一方で叱られてばかりで自信を無くし、やる気が出なかったり誰からの愛情も感じられなくなってしまったりする子もいます。ほめること・認めることは、すべての子どもの心を豊かにします。

「何もほめることがない。」とおっしゃる方もいます。できて当たり前のことでもいいのです。子どもをしっかり見ると、ほめる材料はいくらでもあります。

○兄弟や他の子どもと比較するのではなく、その子ども自身の成長をほめる。

「・・・できるようになってきたね。」「うまくなったね。」「いいぞ。」

○結果だけで判断せず、努力の過程をほめる。

「頑張っていたのを知ってるよ。」「この頑張りは、今後につながるよ。」

○できて当たり前のことをほめる。

「今日もちゃんとご飯食べたね。」「自分でできたね。」「返事がいいね。」

○ありのままをほめる。

「今日もいい感じ。」「大好きだよ。」「笑顔がいいね。」「その服似合ってるね。」「ありがとう」ご家庭でも、お子様たちの良いところをたくさん見付けて、具体的に、真剣に、一生懸命、ほめて、認めてあげてください。(おざなりなほめ言葉は子どもを傷つけます。)自分に自信をもって、前向きにチャレンジし、胸を張って生きていく子どもたちを育てていきましょう。

じょうぶな心とからだで **なん**でもやってみる 城南の子どもたちが目標です。



## 5月の生活目標

きまりを守り よりよい生活を送りましょう

### < 5月の行事予定 >

日	曜日	主 な 行 事 予 定
1	土	
2	日	
3	月	
4	火	
5	水	
6	木	家庭訪問 視力（1年）
7	金	家庭訪問 聴力（5年） 安全指導
8	土	
9	日	
10	月	清掃なし 委員会活動 聴力（3年）
11	火	
12	水	聴力（2年）
13	木	内科（3年）
14	金	遠足（3年） 給食あり
15	土	引き渡し訓練（引き渡しは1、2年のみ）
16	日	
17	月	聴力（1年）
18	火	内科（1年） お肉の情報館出前授業
19	水	
20	木	遠足（2年） 内科（4年）
21	金	5時間 清掃なし
22	土	
23	日	
24	月	5時間
25	火	野球教室（4年） 離任式 2年生以上6時間 PTA送る会 15：45～(ZOOM)
26	水	地域班顔合わせ集会 品川教育の日
27	木	全国学力・学習状況調査（6年） 遠足予備日（2年） 歯科（1・3・5年）
28	金	
29	土	
30	日	
31	月	地域班一斉下校（6校時） 清掃なし

※ 「まん延防止等重点措置」期間が延長されるなどすると、行事に変更があります。